

## 安倍首相による悪辣な「JR総連＝殺人集団」キャンペーンを糾弾する声明

2014年10月30日、衆議院予算委員会において、民主党・枝野幹事長が『政治とカネ』の問題について質問し、これに対して安倍首相は「殺人や強盗や窃盗や盗聴を行った革マル派活動家がありますね。この革マル派活動家が影響力を行使し得る主導的立場に浸透していると思われるJR総連・JR東(マ)から、(中略)枝野議員は献金を受けていた。これは殺人を行っている団体でありますから、(中略)これは由々しき問題ではないですか。(中略)事の軽重からいえば、何件も殺人を起こしている活動家が浸透している」と答弁した。これはあたかもJR総連内に殺人者が存在するような印象を与えるものであり、意図的かつ悪質極まりないものである。また、11月1日～2日には、首相の交流サイト・フェイスブックにおいて秘書が同様の主旨で発信している。

安倍首相の国会答弁ならびにフェイスブックの発信内容は、「JR総連＝殺人集団」と印象付ける悪辣なキャンペーンであり、事実無根・言語道断である。そして、これは参議院議員として活躍している田城郁議員の活動を妨害する行為に他ならない。

JR総連の組合員は、JRの鉄道輸送において世界一と言われる安全・安定輸送を提供しており、日本の公共交通を担う誇り高き労働者である。何人たりともJR総連の組合員に対して、名誉を傷つけ根拠無き誹謗・中傷をすることは断じて許さない。

このかんJR総連は、「えん罪・JR浦和電車区事件」や「業務上横領事件」など、数々のでっち上げ事件を口実に国策弾圧を受け、それに呼応して政府、警視庁公安部、マスメディアなどから「JR総連＝革マルキャンペーン」が熾烈に繰り返されてきたのである。

安倍首相の国会答弁とフェイスブックなどによる悪辣なキャンペーンに対して、「殺人集団呼ばわりは許せない」「JR総連を応援する」など、JR総連には多くの激励の声が届いている。

この連帯・激励の声の背景には、このかんの「革マルキャンペーン」や「弾圧」の本質が、平和運動とJR総連への組織破壊が権力の目的であることをすでに見抜いているからである。

今回の衆議院予算委員会における安倍首相の国会答弁とフェイスブックでの発信は、正当な労働組合活動に対する否定であり「言論の暴力」以外の何物でもない。さらに「殺人集団」と断定した発言は、JR総連に対し「名誉を毀損」する行為である。

JR総連は、安倍首相ならびに秘書の言動に対し、満腔の怒りをこめて弾劾するものである。そして悪辣・熾烈な攻撃・弾圧に怯むことなく、田城議員と共に、全組合員が総団結し、平和・人権・民主主義を守りぬくために奮闘するものである。

2014年11月14日

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連）